

未来



全労協・郵政労働者
ユニオン九州地方本部
機関紙「みらい」
NO. 3247
12年6月27日(水)
Tel・Fax 095-828-1953

職場と社会変革のための労組統一を

おはようございます。

大雨が続きます。被害はありませんか。とりわけ屋外の仕事は大変ですが、がけ崩れなどに十分ご注意ください。

今週末の26～30日に郵政ユニオンは第9回定期全国大会を開き、全労連の郵産労働組織統一を決め、そして翌7月1日に、新労組の統一大会を開く。ユニオン九州本

長崎は大会の成功を期す。

いっまでもなく、郵政ユニオンは全労協の労組として当時の全通から離れた独立組合である。立場は、反連合の非全労連であった。

そして、22年が経過し、日本の労働現場や労組事情もかなり変化した。一口でいって、このままの



労組では、やっつけになく、労組が労働者の権利を守れない時代が到来しており、

理由の一つは、私たちの役割である闘う労組が、少数派を抜け切れず、非力さの中にあることだ。これは厳しく反省したい。

一つは多数派労組の協同路線にある。会社が事業危機た

と言え、解雇に反対できない。そして首切りはまず契約社員に向かう。結果的に、労組は正社員のための既得権擁護の労組と非難されるようになる。

三つに会社の方針だ。いま日本社会では若者の過半数はどんなに頑張っても全員は正社員にはなれない。



残り競争に勝つことができず、大半の人は非正規雇用となる。これは労働者の一人一人個人責任ではない。

この二つの環境を変える闘いなしには、社会を変えることはできない。22年前に私

たちは連合の時代では労働者の権利の防衛はできないと主張し、この組織への参加を拒否したが、結果的に力不足で、この流れを止めることもできず、社会を動かす十分な勢力でもなっていない。

私たちは、いわば、力不足の全労協＝郵政労働者ユニオンの脱皮と飛躍をかけて、2

2年の総決算的に組織統一という方針を決めた。これが全国大会で決まれば、郵政産業労働者ユニオンという名前の新労組となる。

各方面からさまざまな指摘があると思うが、現場労働者の精一杯の団結と闘いで、労組を変え、会社を変え、社会を変える一助になればと思う。統口では違いは違いついて認め合ひ、

共通点で一つの力となり闘うことが必要だと思つ。金と力のない労働者が勝利するためにはこれ以外にはない。

労組とはもともとこのうした役割を期待されている闘う存在なのだ。これが労働者にとって唯一の命綱なのだ。がんばろう！郵政産業労働者ユニオン！

*** **

家族のうち誰か借金が増え、身動きがとれなくなつた場合、家族の誰かが立て替えて返済すると、その人は個人破産を免れる。国でも同じだろう。

EUのいくつかの国の破たんし、IMF(国際通貨基金)が

金を出し合ひ、危機に備えるといつ。日本でも戦前の金融危機で、銀行への取り付け騒ぎのときの対応策は、現ナマをカウンターに積み上げ、「金はあるぞ」とほつきりみせることだと歴史本には書かれている。今も昔も変わらな

世界金融恐慌だから、約40ヶ国がそれぞれ金を出し合ひ、4300億ドル(36兆円)を「融資可能」として市場の前に積み上げた。中でも日本は600億ドル(約5兆円)を拠出するといつ。世界一のお金持ちだ。



真相はわからないが、世界で唯一の超大国＝世界の軍事経済のリーダーたるアメリカがこつでは、恐慌は抜け出せない。

20日の新聞が報じた拠出ランキングでは日本、中国、ドイツ、フランス、イタリアと並び、なぜかアメリカの名前がない。4日頃の話だが、「IMFの資金拠出要請をアメリカが拒んでいる」といふニュースがあったが、そうだった。

そもそも、この恐慌こそ、08年9月のリーマンショック、クワイアメリカ発のものだが、



アメリカは知らぬ顔では納得いかない。もう10年ほど前だが、アメリカはIMFから一度離脱騒動を起こした。もともとアメリカの負担が多すぎることを嫌がって、たからた。4月以降、G8やG20の世界首脳会議が相次いで開かれ、恐慌対策で金を出し合ひことが決められて、IMFが融資額を二倍に増やし、見せ金を積み上げたのに、アメリカは知らぬ顔である。

昨日、国会は消費税増税を決めた。口では社会福祉に使うといふが、いつも同じ手口だ。しかし政府の本音はアメリカの番頭役として、アメリカが協力しないIMFへの資金拠出に備え、日本が資金をアメリカの分も含め、二倍も出し、国際金融と財政を支えようとしたのではないか。そのための国内の金集めが、消費税増税10兆円徴収の真実なのだ。けしからぬぞ。

中間競争せよ、

弱い立場の人と団結し闘おう。

非正規契約社員を雇う企業の正社員化を。

おれは、均等賃金制度を求めたい。

未来



全労協・郵政労働者ユニオン九州地方本部
機関紙「みらい」
NO. 3249
12年7月2日(月)
Tel・Fax 095-828-1953

郵政産業労働者ユニオン始動!

おはようございます。

新生ユニオンがスタート。昨日、郵政労働者ユニオンと郵政産業労働組合が統一し、新生ユニオン＝郵政産業労働者ユニオンが誕生した。

私たちはこれまで統一に汗を流された各位の努力と労働者のご協力で敬意を表しつつ、新労組の飛躍と挑戦に期待を持って、誕生を祝いたい。



郵政でいうなら、ナショナルセンターの枠を超えての左派少数組合、合同上の統一は初めてのことで、それだけ難しいとされた統一こそ、郵政の職場と労働運動を変える第一歩になるという。

組織統一の目的は、職場の改善、労働運動の改革、社会の変革である。現在日本や世界を覆っている大恐慌は、ますます

仲間と競争せず、弱い立場の人と共闘し闘おう。

非正規契約社員を雇う企業の正社員化を。

めげず、均等待遇を求めよう!

ます労働者の生活と存在を危うくしている。労組の再生・発展なくして、働く人の未来は明るくならない。

本統一がこのきっかけとなり、日本労働運動の転換となれば、これほどの喜びはない。私たちはその責任をしっかりと果たす。がんばろう! 郵政産業労働者ユニオン!



*** **

戦後刑法の親、団藤氏逝く

戦後、憲法制定に関わり、刑事訴訟法を起草した元東大教授、最高裁判事の団藤重光氏が6月25日亡くなられた。心よりお悔やみを申し上げます。

戦前のそれは国家に刃向かう奴は死刑、という大逆の私刑集団リンチ的発想があった。しかし彼は、人の命は国ではなく天が決めること

として、死刑廃止論者でもあった。

刑法とは、どのような罪を犯した者にどのような処罰を加えるべきか。また刑事訴訟法は、犯罪を犯した、として起訴された人に、刑罰を科すべきかどうかを定める裁判をするための手段を規定する法である。戦後のこれらの法の基本は、国民のための法であるとする考えが、団藤が言う法である。



かれは、法学入門で、徳川時代の法は、諸法度的にはあったが、国民に公布されず、裁判をする役人のためのものであったと指摘し、また明治の法も「法典の名宛は天皇の官吏であつた」とし、法は国民に与えられてはいなかったと書く。こうした反省の上に、戦後の基本的人権を基礎とする平和憲法や刑法が生まれる。

ところが今、戦後刑法は加害者の利益が優先され、被害者の利益が不利と批判されている。光市の母子殺人事件の裁判で、加害者が少年であること、また被害者が一人であったことから死刑にならなかつた。しかし、これに怒

つた世論への前に裁判所が判断を変え、この少年に死刑が確定した。法が変わつたのである。

確かに法とは社会とともに変わるべきである。しかし基本は変えてはならない。被害者感情はあつたにしても、国民が「一気の首だ」と叫び、私刑集団リンチ的世相は、国家に刃向かうものは死刑という大逆思想へと利用されてきた過去を持つ。

団藤は「法は国民のものであり、国民の不断の努力でこれを守るべきだ」という。光市殺人事件裁判のとき、殺人者を弁護する弁護士の資格のはく奪を「テレビで発言し、騒動を起した橋下大阪市長らが、その流れの中心にいる。」

現在は、刑法の改悪が憲法の改悪に先んじ、進行している。今立ち止まり、団藤の言葉に耳を傾けたい。

*** **

明日7月3日は、日本初の遣隋使が中国(隋)に派遣された日である。

607年、聖徳太子が小野妹子を使節として隋へ派遣し

聖徳太子と遣隋使

た。この書面がよい「われは日出する国の王である。日の没する国の王よ、恙なきや(元氣かい)という対等な立場の使節文となつてた。これに激怒した隋の王は、「二度くるな」と言つた。「隋書・倭国伝」にある。

一年後、小野妹子は帰国する。しかし、小野はその返礼の中身を、「とても対等ではない」と知り、この文書を紛失したとして、朝廷に差し出さず、そのために流刑になる。



その文書には「皇帝、倭王を問う」とある。今風に「はい、おい、なんだ」というふうか。ともあれ遣隋使はこのうち4回ほど行われ、聖徳太子の死去で隋の滅亡で途絶える。のち復活する遣隋使として200年間に

18度の使節が送られた。このように当時の日本の発展は、この隋や唐の使者らによつてもたらされた。今も昔も、近隣友好は大切な。

~~~~~  
●全国大会参加のみならず、大変ご苦労様でした。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

非正規契約社員を正規社員と同等の正社員化を。

めざまし、均等に待遇をなすべし差別！

# 郵産労(全労連)と郵政ユニオンが 未来を見すえて歴史的統一を実現し 闘う「郵政産業労働者ユニオン」結成

# 未来



全労協・郵政労働者ユニオン九州地方本部  
機関紙・「みらい」  
NO. 3250  
12年7月4日(水)  
Tel・Fax 095-828-1953

## 2012年度、中央本部の新役員体制

| 役職     | 氏名    | 所属支店・局 |
|--------|-------|--------|
| 執行委員長  | 廣岡 元穂 | 東京・小石川 |
| 副執行委員長 | 松岡 幹雄 | 大阪・豊中  |
|        | 今井 春繁 | 東京・新東京 |
| 書記長    | 須藤 和広 | 東京・芝   |
| 書記次長   | 日巻 直映 | 東京・世田谷 |
| 執行委員   | 倉林 浩  | 東京・王子  |
|        | 上平 光男 | 東京・目黒  |
|        | 鈴木 英夫 | 静岡・浜松  |
|        | 船津 彰  | 東京・玉川  |
|        | 天野美奈子 | 大阪・城東  |
|        | 兼子 隆  | 東京・杉並南 |
|        | 山岸 親  | 千葉・千葉  |
|        | 上田 秀世 | 京都・向日町 |
|        | 上関 英穂 | 広島・広島  |
|        | 吉田 実  | 東京・銀座  |
|        | 高口美和子 | 長崎・長崎  |
|        | 安達 幸人 | 東京・板橋北 |
|        | 会計監査  | 安倍 工   |

おはようございます。  
郵政労働者ユニオンは、6月29～30の両日に東京・南部労政会館で第9回定期大会を開催しました。  
本大会は、郵政産業労働組合との統一に向けた大会であることから、長崎からは、代議員と傍聴も含め9名が参加をいたしました。  
翌日の7月1日、東京の日本青年館で、歴史的な統一となる郵政産業労働者ユニオンの結成大会を開催しました。  
結成大会のあいさつでは、廣岡郵産労委員長が両組合を代表して、「郵政グループ各社は、非正規社員の雇止めや正社員の一部金カットなど郵政労働者は劣悪な労働、生活環境に置かれている。この歴史



的統一で新たな闘いの戦線を構築して頑張っていく」とあいさつをされました。  
大会は、1号議案から5号議案まで採択され、新たな役員も満場一致で信任されました。役員構成は上記の通りです。  
労組結成宣言を高口中央執行委員が読み上げ、新労組結成を高くかに宣言しました。  
最後に、廣岡執行委員長の団結カンパニーで大会を終了

しました。  
その後、結成レセプションを開き、多くの来賓者、闘う全国の仲間が次々とあいさつをされ、新しい労働組合運動の期待をされているということに肌で実感しました。最後に松岡副委員長の団結カンパニーですべての日程が終了しました(M)。写真中段は挨拶をする廣岡委員長です。



# 未来

郵政産業ユニオン  
**PIWU**  
 郵政産業労働者ユニオン  
 全労協・郵政労働者ユニオン九州地方本部  
 機関紙「みらい」  
 NO. 3251  
 12年7月6日(金)  
 TEL・FAX 095-828-1953

## 郵政産業ユニオンが 目指す運動と方向!

おはようございます。  
 7月1日に郵政産業労働者ユニオン(郵政産業ユニオン)が誕生しました。これはどういった組合か?  
 結成大会議案で、郵政産業ユニオンの綱領に、新労組がめざす方向が示されています。以下、議案書から紹介します。

- 第1に、私たちは、郵政関連で働くすべての労働者の労働条件改善と経済的・社会的地位の向上をめざします。
- 第2に、私たちは、すべての労働者の解放をめざして闘います。
- 第3に、私たちは、事業の公共性を維持・発展させるために国民・利用者とともに闘います。
- 第4に、私たちは、日本国憲法の3原則①主権在民、②基本的人権の尊重、③平和主義憲法を守り生かされる社会をめざします。
- 第5に、私たちは、組合員が主人公の組合民主主義を実行し進めたいとします。



となっておりますが、では現実にとついても具体的なことをやるのか?と聞かれるでしょう。



郵政には23万人の多数派労組があり、会社はこれとの労使協調で、リストラ効率化を進めています。多数派労組も、現場からの批判のまえに、権利防衛を言いますが、しかしそれは、会社の利益が最優先で、結果的に働く人の権利は、見通し通りにすすむに切り捨てられ、働くことが困難になる職場があります。

私たちは、その労使関係の基本を、権利は闘い争もいえるものだといつことを忘れず、会社との交渉の結果、会社の譲歩がない場合は、ストライキを含む闘いで、要求の前進を目指します。

この2つの違いは明確です。07年の民営化以降、急激に悪化する職場を前に、多数派労組は、何か闘いをしたでしょうか。ストライキは聞いたことがありません。

私たちはすでに5度のストライキを全国的に闘い、毎年東京の本社前集会を開催し、全国から集めた「正社員化を求める署名」などを会社に提出してきました。

また、不当な首切り、雇止め、配置転換、パワハラ、不当処分など、その取り消しや個人の働く権利防衛のために、裁判や労働委員会闘争を、現在もかつてのユニオンだけで、全国で24件も闘っています。少数派の労組でも、これだけの闘いができるのです。



もし多数派の労組23万人が、これだけの比率で裁判などをやるとしたら、5千件の争議・裁判などが起きる計算になります。仮定ですが、もしこれをやれば、会社も譲歩し、6万人正社員化など、実現不可能ではないはずです。

では、なぜ多数派労組は闘わないのか。それは会社の赤字が雇用と労働条件の前提だといえるからです。つまり早く言えば、もはや「働け」といっているのです。

そうか。確かに事業会社は赤字です。しかし、ではゆづちよは、かんぽは?どうですか。会社は赤字ですが、非正規者はかりです。おかしいでしょう。

表面上の赤字論に惑わされてはなりません。郵政全体では赤字なのです。赤字論が非正規の根拠にはなく、むしろなる会社の利益論が優先されるからです。

これから見ても会社は協調派労組の求めにすらほとんど応じない時代が今なのです。闘わない、闘えない労組。これが厳しい現在の

職場環境のもつこの背景です。



郵政産業労働者ユニオンは働く人が自分の要求を会社に求めることから始まります。労働者は会社から賃金をもらっていますが、無条件の奴隷でもなければ、牛馬でもありません。私たちは労働者が対等社会の普通の人間なのです。

新生ユニオンはこうした考えで、自らをまず変え、そして会社を変え、社会を変え、みんなが明るく元気で働く社会を目指します。

●、写真上は、全労協金沢議長、写真中が、新労組中央本部の廣岡委員長です。  
 ※PIWUの旗は、新しい組合の旗です。

●訂正。前号の新役員で、会計監査で柳栄寿さん(東京深川支店)のお名前が漏れていました。お詫びして追加します。

中間で競争せず、弱い立場の人と共闘して闘おう。非正規契約社員を雇う企業の正社員化を。めげず、均等待遇をなす闘いを!

# 未来



郵政産業労働者ユニオン  
全労協・郵政労働者ユニオン九州地方本部  
機関紙「みらい」  
NO. 3252  
12年7月9日(月)  
Tel・Fax 095-828-1953

## 郵政産業ユニオンはなぜ生まれたのか①

おなまごいよこまね。

郵政ユニオンと郵産労が7月1日、組織統合をしました。新生、郵政産業労働者ユニオンの誕生で、郵政労働運動の闘い組織の再生です。

以下、その目的などを、3回連載でご紹介します。

### 1、だれが仲間なのかの論

昔、一揆に立ち上がった農民は、心を一つにして、お互い全存在を懸けました。



近隣在郷の農民が刻限を決め、ともに同じ相手に挑むという約束事が一揆を結び「結果」なのです。これは仏教用語で、仏の前心を一つにするという意味です。こうして共に立ち上がる人が本来の「仲間」です。

ユニオンと郵産労は5年間共同闘争を積み重ね、ストを同時に闘って来ました。これこそ同志的結束、相互信頼の絆なのです。これを仲間と評せず、だれを仲間だということでしょうか。他労組内のユニオンの支援者も「仲間」ですが、だからといって、郵産

労を拒絶する論理は、片面の事実です。

### 2、信じる神が違う論

「郵産労とは信じる神が違うからね」とよく言います。そつでしよう。支持政党が異なる人が相互にいるからです。しかしです。1637年、

日本の歴史最大の反乱一揆とされる島原の乱。16村の4万人が決起した闘いです。原城に立てこもった人は、文字通り信じる神が違う人が大勢いました。貧しい農民、キリシタン弾圧に抗した人、旧有馬藩の浪人、下級武士など様々でした。

彼らは3か月間、城の中で「信じる神が違う」と離反していたのでしょうか。そんなことはありません。生死をかけて同じ敵に闘いを挑む人は仲間です。労働者も共通の敵に立ち向かえば、それは立派な仲間なのです。

### 3、一揆をする農民の権利

昔の一揆は、年貢倍増などで起きました。生きていけないからです。秀吉の太閤検地時代から、徳川時代の約280年間、農民一揆は680回も起きています。これが封建制度打倒の原動力となった歴史を日本人は持っています。

一揆の中で支配階級が一番恐れたのは暴動や打ちこわしではありません。それは、武

力で鎮圧できたからです。彼らが一番恐れ、警戒したのは逃散です。村ごと農民が逃げ出し、生産の担い手がいなくなることでした。だから、畑(土地)と農民を結びつけ、支配したので。

人には国家への異議申し立ての権利があります。これは被支配階級の、まさに生活権を奪われたときの、弱者の生きるための最低の道理です。

### 4、雇用形態の変化

産業革命以降200年間、資本主義社会は、労働の結果生み出された利益、富の配分を賃金として受け取ることに



で労使の折り合いをつけてきました。

日本では明治以降140年間、日本独特の家父長制を基礎とした正社員(終身雇用、年功序列賃金)でした。これがまた日本のな労働協約を生んだ背景、一億総中流論でした。

しかし、新自由主義社会では資本家が非正規雇用という乱暴な支配に転じました。富

のさらなる独占が目的ですが、結果的に貧困と格差が拡大し、日本でも若者の一人に一人は非正規雇用労働者です。年収が3分の一になり、ワーキングプアに働く貧困層と呼ばれます。

### 5、非正規雇用の成立要件

非正規雇用、これを昔風に言えば、年貢の3倍増です。年収200万円の人、生涯賃金は1億円程度です。終身の正社員雇用で年功賃金制度では2〜3億円が相場でした。

この非正規制度がいま成り立っているのは、正社員である団塊の世代を親に持っているからです。(日本のアジア労働者の収奪を前提としてですが)。だがこれが終わる20年後に彼ら若者は最低生活保障を失います。食えなくなるのです。

### 6、労働者の争議権

では労働者の一揆(争議)の形式は何か一番か。それは逃散、生産放棄、労働者ではストライキです。

日本ではストを否定して、資本家と協調をする組合(連合)の時代です。これが正社員・本工主義の労組として存在し、非正規者の反乱を未然に防止しています。しかし、生活できなければ、いつかはこれも破綻します。人が人らしく生きていくことが、一番

優先されるのが歴史の法則だからです。

### 7、改憲と労働者

このような労働者の反乱を恐れる人たちが、労働者と労組を弾圧します。現在でいうと憲法に規定される基本的人権や労働者の権利をなく奪する。これが橋下や石原が進めるファシズム派の改憲を基礎とした強権政治です。郵政産業労働者ユニオンはこうしたものと闘う労組です。(次号へ続く)

●写真上は、結成大会の本部席。中は、大黒圭労働連議長のあいさつ。



●なんだ？こりゃ。前号から「未来」の題字の下に「た」マーク。これは新労組の「た」マークです。post industry workers unionです。

●また、これまでのユニオンのロゴマークを(も)役目を終え、交代です。長い間、ありがとうございました。



仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。非正規契約社員労働者組合の正社員化を。めげず、均等待遇を求めよう。

# 未来

郵政産業ユニオン  
**PIWU**  
 郵政産業労働者ユニオン  
 全労協・郵政労働者ユニオン九州地方本部  
 機関紙「みらい」  
 NO. 3253  
 12年7月11日(水)  
 TEL・FAX 095-828-1953

## 郵政産業ユニオンはなぜ生まれたのか②

おたけいじょうおたけ。

新生、郵政産業労働者ユニオンの誕生と目標。もの、今口はシムラース、おたけ。

### 8 流浪の民、3鼎立

1999年11月21日、総評が解散し、大半が連合へ参加しました。労働界再編でした。当時の自民党の竹下首相らは、親の死を悼んで歓迎しました。



連合でいって思う人は当座おくとして全労協と全労連は、労組解体攻撃＝解雇自由社会を共に闘うべきです。同じ口で、同じ闘いを挑むための協議を始め、統一闘争、相互信頼をいままからはじめないで、個別撃破、左派は大敗北となります。これは誰もが見える構図、情勢です。

以来20年、全労協を立ち上げた国労も国鉄改革＝解雇撤回の闘いを敗北の中に終えました。一方、全労連も、万々歳だとは言えない状況



です。主力の組合が公務員攻撃の中で、まさに極右の橋下、石原の台頭へ、労組否定の総攻撃を受けています。

労組ナショナルセンターの3鼎立はまさに左派労働者の流浪の時間です。これを克服し、世界で闘わねばならぬ新自由主義との闘い、右流する。そのためには日本でも統一戦線を組む必要は、正しい路線です。

### 9 若者の自主的な運動で時代を変える

非正規制度の撤回、富裕層優遇を減らす。こうした政治国への共同闘争が必要。なごは、労働者ならはだれでも異議なしの総論賛成です。思想信条の違い、その他の違いを棚上げして、労組として

団結する時代。これが各論実行で、そしてです。

日本労働運動界の常識では、これは難しいとされます。また郵産労働者ユニオンの統合など、おかしな話とか、天又夫か、ともいいます。そういう人たちは70年代以降の歴史として、相互不信が根強いのです。

しかし、過去の闘いの財産は貴重ですが、現実の労組は、非正規時代を阻止できず、貧困と格差の半分の責任を負い、加害者の存在も化けています。財産の多くは失われ、次世代の人たちには過去をただでなく、明日を語ることの重要性を感じています。

労組も若い次世代へ政治的指導部を引き継ぐべきです。若い層は昔の相互対立を知りません。統一のなごが悪いとも言えない発展と運動の前提です。案外、それでいいのではないかとともに思います。

今脱原発で数万人規模のデモが起きています。労組が主導して



いるものではないと。いやそれどころか、電力会社の労組は「われら」を批判しています。まさに若者たちも自衛する権利を求めて自主的な闘いとして発想し、行動する。まさに異議申し立てを行っている人々と敵対する労組であってはなりません。こうした運動の大衆化を見るとき、労組や党派も過去の対立と分裂の体質を見直すときなのです。

なぜなら、この若者たちが言う組織再編統合へ何も対応しなかったならどうなるのかです。組織の若者離れがさらに進み、労組は分裂、非力なまま、現行の本工主義の既得権者で、非正規、解雇自由時代が続く、左派の労働者は憂鬱させられるのです。これは現実です。どうしてみると、敵は一つに思っている人は、違いを棚上げにしても、統一は必要で、なににも増した大義です。次いで続きます。

●写真は上、大会光景。中、全労連の大黒議長のおごり。下は、中央本部の廣岡委員長、右、松岡副委員長、中、今井副委員長、左、副委員長です。

\*\*\*

## 7月22日はユニオン海水浴

夏休み最初の日曜、22日は恒例のユニオンの海水浴です。場所は伊王島です。8時半まで大波止集合で、8時50分のフェリーで行きます。

参加費は1000円です。枚数代、フェリー代。分会が準備する弁当と飲み物・ビール



代は希望者には1000円の予定です。参加希望は、分会の役員まで

ください。

### ●今後の日程

- ユニオン九州本と支部大会。8月26日(土)、13時。長崎支店会議室。予定。組合員全員参加の大会です。
- 郵政産業労働者ユニオン九州地本大会。9月2日(日)。13時。郵産労働者の統合大会です。福岡。代議員制(4人)です。今募集中です。
- ピースサミット。8月6～9日。玄海原発から長崎まで。
- 第16回、8.8平和を考える長崎集會。地区労会館予定です。

中間で競争せず、

弱い立場の人と共闘して闘おう。

非正規契約社員を雇う企業の正社員化を。

めれば、均等賃金、なごの差別。

# 未来



郵政産業労働者ユニオン  
全労協・郵政労働者ユニオン九州地方本部  
機関紙「みらい」  
NO. 3254  
12年7月13日(金)  
TEL・FAX 095-828-1953

## 郵政産業ユニオンはなぜ生まれたのか③

おぼろげに思い出せば。

郵政ユニオンは郵産労組  
組織の面でも、思想的にも  
ユニオンスの総ての中心。

1-0 現場の再編運動を  
長崎からは全国に広がる見  
えませんが、しかし、現場労働  
者の声は聞かれます。彼らの  
期待は、ユニオンで郵産労働  
の統一を求めています。

史があり、それぞれに主張が  
あります。しかし、今進む国  
家再編改革とは、この労組の  
歴史や主張も含め、「一気」に  
「御破算」にする強権的な攻  
撃です。

20年前の労働界再編では、  
労使対立総評から労使協調  
連合の旗が変まりました。  
今進む攻撃は、国家主義的  
立場から、その旗すら否定し、  
一切の権利をなく奪い、労使  
対等ではなく、絶対労使支配  
を目指すべきです。

解雇自由、非正規時代から  
さらに、服従支配の時代への  
転換の中、次の労働運動の分  
岐が眼前にあるのです。  
統一を避けて、現状を許す  
のか。あるいは、左

困難な事態が生まれ  
ると思えます。しかし、  
共同闘争をこの限り  
の道でたがえるのは、  
はやりませぬ。必死、  
困難を乗り越え、郵政  
運動への闘い、労組の再  
編を成功させます。こ  
れが新労組の決意であ  
り、共通認識です。

1-1、3 団体の固定化打  
破を  
日本の労組再編の困  
難性は、団体の固定化  
から生まれています。  
それは、それなりの歴



1-2 ユニオンの仲間  
確かに郵政ユニオン  
は、反連合、非全労連  
したので路線的には  
転換だとして、新ユニ  
オンに不参加や、ある  
いは参加した人にも  
刃を振り回れるとい  
う人もおられると  
聞きます。



て何の意味  
があるの  
の論に。そ  
してもユニ  
オンが郵産労  
組吸収され  
ただけで  
これを統一  
の糸口と  
は呼ばな  
い。

その方たちへ。  
この統一は長い時間をかけ  
て議論され、決定されたこと  
です。この統一の前提は、  
全労協がある限り、ユニオン  
は全労協の傘下で活動する  
が確認されています。  
また、討論経過を民主的  
にはない批判をしても、ま  
すが、6年かけて真剣に討論  
したのが新ユニオンです。

吸収合併論は、この主体の  
統一の大義の前にはいかに小  
さく視野であるか。労働  
者は一人では弱い存在である  
から、組織を作る、しかも  
に闘うために作られました。  
一緒に闘えば、信頼は得られ  
ます。全国、全世界の労働者  
がともに闘う。これを確立す  
るために最初の小さな統一  
と闘うことが必要です。

＝郵政産業労働者ユニオンは、  
これを統一の旗  
で同じ言葉を発  
し、団体の固定化  
に風穴をあけ、  
全体の再編統合  
の捨て石になら  
ず。

今後、不都合が生ずることも  
それを相手のせいにはせず、共  
に統一の結果をともに作り  
出す。異なった組織の統一  
合です。最初から、この統一  
をめぐっては限られています。  
辛抱です。

1-3 統一論の結論  
その目的は、連合多数  
派を除いて少数派だけ統一し  
て何の意味  
があるの  
の論に。そ  
してもユニ  
オンが郵産労  
組吸収され  
ただけで  
これを統一  
の糸口と  
は呼ばない。

## 7/22は海水浴だ



7月22日(日)、組  
合海水浴場所は、伊  
王島、大波止からフェ  
リーで行きます。参加  
費1000円。舟代、棧  
敷代です。弁立、飲み  
物は希望者のみで別途  
1000円です。

1-4 やり直し  
本紙「未来」はこの歴史的統  
合を前に、統一の成功を「の  
記事」を二度、結成大会報告を  
二度、そして「御破算」を  
二度、一週間に全八回のシリ  
ーズで発行しました。  
一地方の機関紙でありなが  
ら、これほど労組統一に力  
を入れたのは、2年前の郵  
政全労協を作ったこの、解  
体的危機という組織的体験  
を全国で共有してきたから  
です。分裂と解体の危機には  
統一は大義という言葉を  
心ひり返す。そのため「本  
誌「未来」の特集号」が役立  
ててほしいです。  
以上で、新労組郵政産業  
労働者ユニオンはなぜ生まれ  
たのかの連載を終わります。  
みなでかたまりましょう。

中野の競争を、弱立場の入り口を、非正規労働者の権利を、おぼろげに思い出せば、